

押杜っ子

No.1 令和8年4月20日 発行/古屋 正樹

～入学・進級おめでとうございます～

入学・進級おめでとうございます。新年度を迎えた押原小学校では、元気いっぱいの1年生63名を迎え、全校児童386名でのスタートとなりました。本校は、ここ数年児童が徐々に増えはじめ、毎年10名ほどの増加傾向にあります。町内では3番目の規模ですが、それでも近隣では大きな学校となってきました。



子どもたちの元気が生む活力は言うまでもありませんが、大所帯であるからこそみんなで一つの方向を目指し、全児童・全教職員が一丸となって進んでいくことが大切となります。そして、在籍する386名の子どもたちには、「**386の笑顔**」「**386の輝き**」があるはずです。それぞれがステキな「**笑顔**」「**輝き**」を放ってくれることを心から願っています。

教職員一同全力で取り組んで参りますので、保護者の皆様、地域の皆様にはご理解とご協力をお願い致します。一年間どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度がスタート！！

2年生から6年生までは1つ学年が上がり、この1年「あんなことしたいな」「こんなこと頑張りたいな」と希望に胸膨らませていることと思います。4月は、新しい学年、新しいクラス、新しい友だち、新しい先生と、たくさんの「**新しい出会い**」を迎える時であり、きっと希望に満ちた未来を描いていることでしょう。もちろん、新たな出会いだからこそその不安や心配もあるでしょう。思い通りにいかないこともあるでしょう。だからこそ、いい時もそうでない時も、全力で頑張ること、前向きに考えること、みんなで力を合わせていくことが大切になってきます。私は、ここ数年、子どもたちに次の言葉を伝えていきます。それは、「**一生懸命が一番かっこいい!**」です。

一生懸命取り組む姿は、人の心を打ちます。たとえそれが上手くいかなかったとしても、一生懸命な姿は人に伝わります。年頃になるとダサいと映るかもしれませんが、着飾った外見のかっこよさよりも、真剣にやる、夢中になってやる内面のかっこよさを大切にしてほしいのです。メジャーガー・大谷翔平選手の魅力は、結果はもとよりあのひたむきな姿、謙虚な姿にあると思います。押原小の押杜っ子にも「**一生懸命**」で「**かっこいい姿**」を目指してほしいと思います。

入学式・かわいい63名が仲間入り

入学式をお祝いするかのように春風に桜の花が舞う中、昭和町教育委員会 教育長 柴茂生様をはじめとする来賓の皆様、そして、保護者の皆様のご臨席を賜り、入学式が盛大に挙行されました。1年生をお迎えする春日和とともに、6年生による歓迎のスピーチ&合唱が、お祝いに彩りを添えてくれました。



希望に胸膨らませ入場した1年生。背筋をピンと伸ばし、あふれんばかりの笑顔で参加したその姿に、入学式を待ちわびていた感じが感じられました。学級担任の本先生（1組）、五味先生（2組）、三井先生（3組）から一人ひとり呼名されると、どの子も精一杯の返事をし、新たな世界に一步踏み出す元気な姿が見られました。来賓の皆様、保護者の皆様の優しい眼差しに触れ、体育館いっ

ぱいに広がる**温かな空気**に、これから始まる小学校生活が**希望と期待**に満ちあふれたものになる予感がしました。

しばらくは慣れない生活が続くと思いますが、楽しく充実した毎日になるよう教職員・在校生一同サポートして参ります。たくさん学び、たくさん遊び、そして、たくさん人と関わり、6年間精一杯自分創りに励んでほしいと思います。がんばれ、1年生！！



校章にホタルを冠した押原小



昭和町内の4小中学校の校章には「ホタル」が配されています。昆虫（動物）を校章に用いることは全国的にも珍しく、まさにレアな校章です。校章にホタルが用いられるわけですから、如何に昭和町がホタルの町であったかをうかがい知ることができます。そんなホタルの町昭和では、ホタルの復活を願った活動を現在でも地道に続けています。



今年も押原小では、町教育委員会とキャメリア（昭和総合型地域スポーツクラブ）の皆さんのご支援により、押原の杜の小川にホタルの幼虫300匹を放流しました。この時期になると、幼虫は水中から上陸し始め、土中でさなぎへと姿を変えていきます。ホタルは光の影響を受けやすいため、なかなか町内で舞う姿を見ることは難しいのですが、放流した幼虫が羽化し、6月中旬頃に舞う姿にぜひ会いたいものです。



<あとがき> 子どもたちの登校の様子を見にいくと、素敵なのぼり旗を発見しました。「あいさつとふれあう心」という押越区のものぼりです。子どもたちは、こうやって地域の皆さんに見守られているのだと思うと本当にありがたく感じます。引き続き、子どもたちをよろしくお願ひします。

